

獅子舞・興義市馬岭鎮

水上章写真集

貴州省・少数民族光彩の里

布依族

A collection of photographs by Akira Mizukami



光彩の布依族^{ブイ}

この珍しくも、情感豊かな風光のなかで生活できる人達は大変幸せである。

中国の少数民族のうち「苗族」「侗族」等を撮ってきたが、同じ少数民族であつても、こんな地域で父祖から引継いだ田畑を耕して、静かななりわいを過すことは全く喝采である。

先ずこの布依族は他の苗、侗族と違って、中国5千年の歴史のなかで、古来よりこの地で生存してきた「原始民族」であるという事である。苗、侗族はおそらく古近代におきたであろう戦乱に巻き込まれ、他の地方から大挙して移住によって形成された民族であるが、布依族は異なる。

この地は三角形の山々が無数に連なるカルスト地帯である。数億年前は、おそらく海底であつたことと思われ、堅い岩石のみが残り柔らかい地層は崩れた、かの有名な「桂林」と同じであるが、その規模ははるかに広く大きい。その三角山の麓は平坦地で海泥の堆積でかなり肥沃地であつた事であろう。その肥えた土地に根づいた民族が布依族である。現在でも地層の浅い所では太古の岩石が、畑や河に露出して、その様相を窺い知ることが出来る場所は無数で、長く大きい場所では数キロメートルも続いている断層がある。

もう一つ苗、侗族とはつきり異なっていることは、この民族の住環境である。水害のない程度の高さを保持できる場所で、苗、侗族ほど軒の庇を付け合わせるほどの密集的村落の形成ではなく、一戸一戸がそれぞれに扉があり、農作業もその扉内できただけの敷地を持った家で集落を作っている。更に北方漢民族のように集落全体を囲う城壁もない。またカルスト地帯であるため、石灰岩が豊富であり、従つて家屋も扉もすべてが石で造られている。近くの人が家を新改築する場合は、周りの人達が全員手伝つて住宅用の石造り、積み上げ、梁には木材を使用するが、約1カ月くらいでたちまち一軒ができあがる。夏は涼しく冬は暖かい住宅である。

著者略歴

大正6年 山梨県牧丘町に生まれる

生家は小地主であったが、少年時代、父が早く亡くなり母と二人暮らしであった。

昭和12年 母が病にたおれ、旧制中学を休学し、看病にあたる(入隊1ヶ月前に母が亡くなる)

中学時代は、パーレットを使う

昭和13年 徴兵検査合格、14年 4月渡中

中国時代は、セミニルタII型を使う、フィルムが手に入る限り中国の風物、人物などを撮る

昭和17年 11月除隊、生家に戻る

昭和20年 1月召集、東京防衛軍、土地開放で農業不可

昭和24年 中国時代の戦友のすすめで上京、東京に移住

昭和26年 渡辺義雄先生と出会い、フタバ写真クラブ入会、風景、スナップ等を撮る

昭和30年頃より業務多忙のため中断、昭和40年再開

撮りためた国内の風景写真を渡辺先生の推薦により個展「季節の歓び」「北京是好日」

その後63年「黄土地帯」平成3年「異境の貌」平成6年「苗族」平成7年「侗族」

平成8年「布依族」山梨県民会館・コンタックスサロン銀座開催

出版・Bee Books「異境の貌」「苗族」「侗族」「布依族」

所属・フタバ写真クラブ・全日写真連・コンタックスクラブ会員

現住所 東京都杉並区西荻窪北五ノ一六ノ七 ☎〇三―三三九〇―一六二一

塩山写真工房 ☎〇五五三一―三三一六八〇〇



水上章写真集 貴州省・少数民族光彩の里

布依族

A collection of photographs by Akira Mizukami

贺 词

贵州省地处中国西南部，拥有丰富的物产，秀丽的以光和迷人的民俗风情，正在成为新的旅游胜地。为了使更多的外国朋友了解贵州，水上章先生曾多次来贵州少数民族地区采访和创作，先后在日本出版了“贵州苗族”和“贵州侗族”写真集，从一些侧面生动地反映了这里古朴浓郁的民族民情。

布依族是贵州主体少数民族之一，有着悠久的历史灿烂文化和独特生活习俗，我相信通过水上先生这本“贵州布依族”写真集，会使广大日本朋友更多地了解到贵州丰富多采的少数民族风情。

在“写真集”出版之际，谨表示热烈的祝贺，并对水上先生为宣传贵州作出的努力表示衷心感谢。欢迎更多的日本朋友来贵州旅游观光、投资经商。

贵州省政府副省长 姚继元

一九九六年元月于贵阳

祝詞

貴州省は中国の西南部に位置し、豊富な物産、美しい自然、魅力あふれる少数民族の里として、新しい観光名所となっております。

水上章先生は、より多くの外国の友人の皆様が貴州を理解していただくために何回にもわたって貴州少数民族地域を訪れて取材され作品を発表になり、日本で「貴州苗族」「貴州侗族」の2冊の写真集を出版されました。同書には、この地方の素朴でゆったりとした少数民族の生活が生きて書き出されております。

布依族は貴州の主な少数民族のひとつで、悠久な歴史、光り輝く文化そして独特の生活習慣を持っております。私は多くの日本の友人の皆様が、水上先生の今回の写真集「貴州布依族」を通して、豊富で多彩な少数民族の風情をさらに深くご理解してくださるものと信じております。

写真集出版に際しまして、心よりお祝い申し上げますとともに、水上先生の貴州紹介のご努力にたいして深く感謝申し上げます。今後ともさらに多くの日本の友人の皆様が、観光やビジネスで貴州にご来訪されることを歓迎いたします。

貴州省政府副省長
姚繼元



水上章氏の写真集によせて

水上さんから中国の話を初めてお聞きしたのはいつだったのだろう。

先日、塩山のお宅で、熱っぽく中国の少数民族について語るお顔を見ながら、ふとそう思った。もうずいぶん前のことのようにもあり、つい最近のようでもあり……。

向かい合って次々に見ていく作品の中には、ここ4、5年の努力とその結果がはっきりと見られました。何を撮りたいのか、どう撮りたかったのか、見る側の心に伝わってくる作品が多いのです。レンズを向けられた子供たちの自然な表情は、撮る人の気持の大きさを表わしていると思います。水上さんの写真はまさにそのとおりでした。

撮影に旅行はつきものですが、水上さんの中国の旅の中では「嫌なことに会った」という話を聞いたことがあります。中国の旅と中国少数民族を心から愛しているからではないでしょうか。

これからも良い旅と良い写真を撮り続けてください。写真の仲間として、写真集の誕生に拍手、拍手を贈ります。

写真家 徳光ゆかり

















この地方のこうした山々は殆どが裸の岩石の山であるが最近では政府の指導もあり、住民たちの生活上の必要もあり、村に隣接した山ではなんとかして植樹しようと、杉や松、雑木の類を植えて薪や落葉を採り利用しつつある。大部分が草も木も生えない裸の岩石の山である。そうした山の麓はおおむね平坦であり、温暖な気候（台湾とほぼ同緯度）で広葉樹林帯という多雨な地帯でもあり、雨が多いので山から流れる豊富な水で農業には最適な条件である。苗、侗族とは違い生活も程々に豊かで人柄も知的で温順である。従って文化の程度も高く生活の余裕があるためか、各村々には種々雑多な、その民族の伝統を伝える行事がある。

例えば「地劇」という、日本には歌舞伎があるが、良く似た劇であり、舞台や幕、バツクの絵などを作らず、路上や庭で演じられるから地上劇を略した呼称であろう。この劇に使用される面や衣装、小道具等は数百年来受け継がれたものをそのまま使っているようであり、破損したものは新しく作るが、全く旧来の復元である。使用しなくなった面や小道具、衣装等は博物館に保存されており、その数は数百点に及んでいる。

演ずるものは、三国志の物語を創作したものが多く勇壮な剣劇である。

太鼓、ドラ等で賑やか、且つ大身振り劇である。発声は剣を打ち振るときの気合いが多く、劇の進展に伴なうナレーション的なものであった。面を付けるのは眼から上方であり独特な方法である。下題は三国志の「玄德」と「曹操」の争いであり、白い面が善人の玄德、赤い面が悪人の曹操であり、黒は武勇の名高い武人である。日本では一幕であるう、1時間くらいで一応の終了となったが、役者は汗びっしょりかいての活劇であった。

貴州省安順北方20キロメートルほどのところにある蔡官屯である。山も畑も一望千里、総てが黄色一色で、それに春の霞がかかり夢の世界であるかのような菜の花畑の素晴らしい起伏に富んだ風景であり季節であった。4月中旬はこの地方のみではなく菜の花の季節であるが、安順以南は菜の花は茎ごと刈り取られ天日で乾燥させて油を搾るのである。大きな束を二つ天秤棒で担いでゆきゆきと田圃の畦道を歩く姿もこの地方での風物詩である。